学校番号	T3029

令和８年度　家庭科

教科	家庭科	科目	家庭基礎	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	「新図説家庭基礎」（実教出版）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

自分の生活を一度見つめなおし、よりよい生活をめざしていきましょう！
授業はノートを使って学習しますので準備しておいてください。
板書だけでなく、授業担当者の発言もメモを取るようにしてください。
テストは毎回行います。実験や作品発表も行います。

2　学習の到達目標

生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を通して、様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する資質・能力を次のとおり育成することをめざす。
(1)人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。
(2)家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を養う。
(3)様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・自分自身の生活の課題について、認識することができる。また、家族・家庭、地域社会の役割を理解し、生活の充実向上にむけて必要な基礎的・基本的な知識を身に付けている。 ・自立した生活に必要な基本的・基礎的な技術を身に付けている。	・自分自身の生活や家族・家庭、地域の生活にかかわる課題を見つけ、課題解決のため思考を深めて、工夫したり創造したりし、自分の考えをまとめ、判断できる。また、課題解決の学習から導き出した考えを的確に表現することができる。 ・家庭や地域社会の生活に関する課題を発見しそれらの解決に向けて情報収集をしたり自分の考えをまとめることができる。	・自立した生活にむけて、人とのかかわり、衣食住などの生活、経済的な観点において、積極的に課題を見いだし、それらの解決にむけて意欲的に学習にとりくもうとしている。 ・人の一生、家族・家庭、子どもや高齢者の生活、それらと社会との関わり、衣食住について関心をもち、その充実・向上をめざして意欲的にとりくむとともに、実践的な態度を身に付けようとする。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	第一章自分らしい生き方と家族	１生涯発達の視点 ２青年期の課題 ３人生をつくる ４家族・家庭を見つめる ５これからの家庭生活と社会	a： さまざまな家庭生活について調査することができる。 ：青年期の課題や現代家族の特徴、家庭機能の変化、家庭生活と社会との関わりについて理解している。 b: 家庭生活を支える法律や社会制度を考えている。 c： 各ライフステージの特徴と課題について具体的に考えようとしている。	ノート DVD鑑賞 調べ学習 レポート 定期考査	ノート DVD鑑賞 調べ学習 レポート 定期考査	授業への取組 ノート
	第五章食生活をつくる	１食生活の課題について考える ２食事と栄養・食品 ３食生活の安全と衛生 ４生涯の健康を見通した食事計画 ５調理の基礎 ６食生活の文化と知恵 ７これからの食生活	a：栄養、食品、調理及び食品衛生など、食事と健康との関わりを実習を通して科学的に理解している。食生活をよりよくするための調理に関する基礎的・基本的な技術を身に付けている。 b: 現代の食生活の課題や食事の意義について思考を深めている。 c： 食生活に関心を持ち、意欲的に食生活の改善・向上に努めようとしている。 ・調理実習や実験などに、科学的な視点から、積極的に取り組もうとしている。 ・食品表示に関心を持ち、食生活の安全と環境について考えようとしている。	ノート DVD鑑賞 調べ学習 調理実習 レポート 定期考査	ノート DVD鑑賞 調べ学習 調理実習 レポート 定期考査	授業への取組 ノート

	第二章　子どもとかかわる	1命を育む 2子どもの育つ力を知る 3親として共に育つ 4これからの保育環境	ａ：子どもの心身の発達や生活と環境との関わりについて、社会全体で子育てを支援する必要性を認識し、子どもの権利と福祉について理解している。 ・妊娠、出産等生命の尊さ、子育ての意義の重要性について理解している。 ｂ:子どもの生活や子どもを取り巻く環境、子育てにおける課題などについて、情報を収集したり、調査している。 ｃ： 母体の健康と子どもの誕生、子どもの心身の発達・子育ての環境について関心を持ち、家族の果たす役割を考えようとしている。 児童虐待や育児不安・子育ての問題点の事例研究を通して、原因および解決について考えを深めようとしている。	ノート DVD鑑賞 調べ学習 調理実習 レポート 定期考査	ノート DVD鑑賞 調べ学習 調理実習 レポート 定期考査	授業への取組 ノート
後期	第8章　経済的に自立する	1職業生活を設計する 2計画的に使う 3国民経済・国際経済と家庭の経済生活 4現代の消費社会 5消費者の権利と責任 6これからの消費生活と環境	ａ:消費行動と家庭経済と国民経済の関わり、家計の管理や経済計画の重要性を理解している。 ・消費者・環境問題の現状や消費者の権利と責任について理解している。 ｂ:身近な消費生活の中から、社会・環境に関わる生活を見直し、自分の消費行動を検証することができる。また消費者・環境問題について、その原因と対策について具体的な事例を通して考えている。 ｃ： 生涯を見通した生活における経済計画について関心を持ち、自立した消費者として行動しようとしている。	ノート DVD鑑賞 調べ学習 調理実習 レポート 定期考査	ノート DVD鑑賞 調べ学習 調理実習 レポート 定期考査	授業への取組 ノート
	第3章　高齢者と関わる	1高齢期を理解する 2高齢者の心身の特徴 3高齢者を支える 4これからの高齢社会	ａ： 高齢社会の現状と課題、高齢者の心身の特徴や生活について理解している。また地域の高齢者福祉サービスについて情報を収集している。 ｂ：現代の高齢者を取り巻く課題を見い出し、その解決をめざして思考を深めている。 ｃ： 高齢社会の現状と課題、高齢者の心身の特徴や生活などについて関心を持っている。	ノート DVD鑑賞 調べ学習 調理実習 レポート 定期考査	ノート DVD鑑賞 調べ学習 調理実習 レポート 定期考査	授業への取組 ノート
	第4章　社会と関わる	1私たちの生活と福祉 2社会保障の考え方 3共に生きる 誰もが暮らしやすい社会をめざして	ａ： 共生社会の重要性について理解している。また、共生社会の実現に向けて支え合う活動に必要な技術を身に付けている。 ｂ；社会制度の理念について考えを深め、社会の一員として、共生社会を実現するために何ができるか考えている。 ｃ： 共生社会に関心を持ち、主体的に行動しようとしている	ノート DVD鑑賞 調べ学習 調理実習 レポート 定期考査	ノート DVD鑑賞 調べ学習 調理実習 レポート 定期考査	授業への取組 ノート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度